

急速なグローバル化と国際保育者養成のニーズ

～外国人保育士への日本語教育と、英語保育者の養成を急ごう～

鈴木 克 義

はじめに：厚生労働省の方針で、株式会社立の認可保育園が全国に誕生

保育園の待機児童問題を背景に 2000 年から保育所設置者の制限が撤廃され、保育分野への株式会社参入が可能になった。それでもなかなか株式会社立保育所を認可する自治体は増えなかったが、2012 年に保育と子育て支援を総合的に推進する「子育て関連 3 法」が成立し、保育所が供給過剰でない限り、自治体は原則認可することになった。

2013 年には安倍晋三首相が成長戦略の柱の一つとして保育園の定員を 5 年で 40 万人増やす構想を打ち出したのを受け、厚生労働省が株式会社による認可保育園の参入を拒まないよう各自治体に通知した。

さらに 2014 年 6 月に公正取引委員会が、保育所の運営への株式会社の参入を事実上妨げている自治体があると指摘し、改善を要求した。保育所は全国に 2 万 4 千カ所あるが（13 年 4 月）公立保育所が 4 割を占め、5 割が社会福祉法人が設置した保育所で、株式会社や有限会社の経営する保育所は 474 カ所と、全体の 2 % にすぎない。

これを受けて、それまで株式会社立の保育所設置を認可して来なかった自治体も積極姿勢に転じ、静岡市では、2015 年の 4 月に全国規模の株式会社が設置した、60 人定員の「あい保育園」が 2 カ所同時にオープン、2016 年にも 1 園、他にも定員 20 名前後の小規模保育所が、地元の株式会社や NPO によってすでに数カ所、運営されている。

不足する保育士を企業が自社で養成、大学の保育系学部・学科に存立の危機が！?

保育所の定員を 40 万人増やすには、7 万 4 千人の保育士が新たに必要になるそうだ。ところが大学や短大保育科などの養成校を卒業する有資格者は、毎年 2 万人ほどで、一方辞めていく保育士が 3 万人いるという。これでは到底追いつかない。政府は過去に保育所に勤めていた有資格者の掘り起こしと再就職支援を始めたが、焼け石に水である。

そこでついに、毎年保育士を大量採用する最大手の株式会社 JP ホールディングス（東証一部上場、資本金 10 億円）が、保育系学部以外の学生を採用し、内定期間中に無料で保育士養成講座を開講して、年に 2 回となった保育士試験を受けさせるという養成システムを始めた。最初の試験は 4 月なので、そこで合格した新入社員はすぐに現場に出てもらい、不合格でも補佐で配置し、初任給 22 万円で引き続き次の保育士試験をめざすという。

これは保育系の大学で 2～4 年、学費を払って講義や実習を受け、やっと保育士になった従来の養成システムを覆すものであり、今まで安閑としていた養成校には脅威だろう。

保育のグローバル化で、外国人保育士の雇用が進む

保育の現場を回っていると、どこの園にもほぼ必ず、外国人やハーフの子どもがいるようになったが、慢性的な人手不足に悩む保育士のほうも、今後は外国人が増えるだろう。保育と同様に人手不足の看護や介護の現場では、既に 2008 年度からインドネシア、フィリピン、ベトナムから EPA（経済連携協定）に基づいて外国人受入れが始まっているが、静岡県でも浜松市の病院で、フィリピン人看護師を複数名受け入れている。

2014 年の 6 月、日本政府は「日本再興戦略」の改訂版を閣議決定し、「保育士不足解消に向けての対応強化」という項目の中で「外国での保育士資格を持つ外国人を含めることについて速やかに検討」することにした。さらに 2015 年の改訂版では、保育士試験の年 2 回実施のほか、高度外国人人材や留学生に在留資格を与える要件を盛り込んだ。（2015-6-30 首相官邸ウェブサイト）

すでに首都圏の飲食店やコンビニでは、店員が全員外国人という光景も珍しくなくなっているが、今後は保育の分野でも、担任が外国人というのが当たり前になるだろう。

養成校では今のところ、就職率の高さも手伝って日本人の学生だけで定員を満たしている所が多いが、保育の現場は人手不足なので、今後は外国人留学生を積極的に受け入れて日本語教育を行い、保育士資格を取らせて需要に応える必要があるだろう。

増加する「英語で保育」の幼稚園、プリスクール

政府が外国で資格を取った保育士を容認する方針を示したことで、保育の現場には日本語が完全にできない保育士が入ってくる可能性が高い。小規模の無認可保育所では、保育士の過半数が外国人という事態さえ起こるだろう。

フィリピン人は英語で教育を受けているので、英語でのコミュニケーションには不自由しない。他の若い外国人も、英語なら話せるという人が増えているので、日常的に英語が飛びかう職場も出てくるに違いない。

そこで日本人の保育者も含め、英語で保育をしてみようという幼稚園やプリスクール、保育園が出てきても不思議ではない。幼稚園ではほぼ 100% が何らかの形で英語教室などの英語活動を取り入れているし、英語で保育をするプリスクールや保育園も増加の一途である。現在、小学校 5 年生から必修となっている英語は、もっと早くから子どもを英語の環境に入れたほうが自然に習得できるので（鈴木 2010）、英語で保育する園は親からも歓迎されることだろう。

静岡県内ではここ数年で、新たに英語クラスを設置したり、英語で保育する幼稚園・保育園が増えている。静岡市葵区の MEK（Miyazaki English Kindergarten）は 2004 年から完全な英語保育を行い、口コミだけで着実に園児を集めているし、駿河区で 2006 年スタートのベイビーバッハは、1 歳から英語保育を行うプリスクールである。さらに 2014 年には同じ駿河区で、NB インターナショナルキンダーガーデンがオープンした。ここは近い将来、世界共通のカリキュラムである国際バカロレア導入を目指すという本格派である。今後こうした場所で働く外国人保育者はもちろん、親と保育者の間に入る日本人保育者のニーズも増すだろう。

沼津市の私立幼稚園が英語幼稚園にリニューアル！

英語保育の幼稚園といえば、1994年から英語イマージョン保育を導入した加藤学園幼稚園が有名だが、同じ沼津の富士市寄りで、30年に渡って特色のある美術教育を実践してきた幼稚園が、2016年度から英語保育のクラスを設置し、2年後に完全な英語幼稚園として生まれ変わる予定である。

ここは園児数の減少から、2017年の春に閉園する予定だったが、地域や保護者の要望もあり、山梨で英語幼稚園を運営するマリア国際幼稚園が引き継いで、英語保育の園として生まれ変わらせることになった。

待機児童が多い保育園とは対照的に、幼稚園では園児数の減少に悩む所が多いが、英語で保育する園では根強い需要に支えられているところが目立つ。前述のMEKも同様だし、牧之原市で30年以上英語レッスンを行ってきたすすき幼稚園も、2014年度から英語保育に切り替えて好調を維持している。老舗の加藤学園も、私の娘が通っていた十数年前は4クラス中1クラスだけが英語イマージョン保育だったが、現在では2クラスに増え、それでも需要に応じきれず、一般のクラスに待機児童がいるそうである。

来年から英語保育に転換する沼津の幼稚園では、たまたま本学の保育科生が教育実習を行ったのだが、閉園すると思っていた母園が生まれ変わり、しかも英語が嫌いではない彼女はめでたく内定をもらって、山梨での研修の後、ここで働くことになった。

今後、幼稚園の生き残りのカギはグローバル対応ということになり、英語で保育ができる保育者は、国籍を問わず引く手あまたになるだろう。



2015年2月に行われた保護者説明会



英語幼稚園に生まれ変わる、沼津市のみくに幼稚園。

ギリシャ神殿のようなエントランスを持つ園舎は、そのまま再利用される。

英語幼稚園と株式会社立保育園の求人が増加、待遇が改善へ

保育科の学生に志望動機を聞いてみると、子どもが好きだから、保育園の先生に憧れて…といった答が多いが、よく聞いてみると、就職率が 100% なので親や高校の先生に勧められて入ってはみたが、勉強や実習が大変で、その割に保育者の給与水準は低く、何年勤めても上がらないという噂を聞いて気持ちが折れているような学生もいる。

こういう学生たちに今、魅力に映っているのが、静岡県内でも増えつつある英語幼稚園と、首都圏を中心に人材獲得競争が加熱している株式会社立保育園である。

最近求人票が届いた横浜の幼稚園では、来年度から本格的に英語クラスをスタートさせるため、英語ができる幼稚園免許取得見込者を募集しているが、通常の基本給 16 万円余に加え、英語の資格手当や諸手当を含め、初任給が 20 万円を超え、ボーナスも初年度で 4.2 カ月分が支給される。年収が最初から 300 万円を超える計算になる。

なおここでいう英語資格とは、英検や保育英検の 2 級～3 級程度、小学校英語指導者資格 (J-SHINE) などを指す。保育英検は本学で団体受験ができ、J-SHINE は英語英文科で受講することができる。

株式会社立の保育園は、地域によって給与体系を変えているようだが、出版社系の大手では基本給 18 万余円に加え、首都圏では諸手当を加えてやはり初任給が 20 万円を超える。都市部では生活費がかかるとされるかもしれないが、住宅手当や交通費全額支給に加え、引越代も半額支給という充実ぶりである。

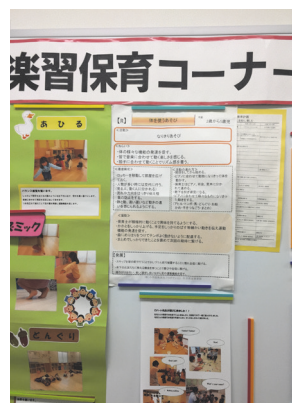
静岡県内の保育園ではまだまだ 16 万円スタートという例が多いので、格差は数万円に及ぶが、今後は株式会社立の参入で人材確保のため、待遇も改善されるかもしれない。

静岡県内の養成校ではまだ、株式会社立や県外の就職先を積極的に勧めない所もあるが、株式会社立といっても認可申請の際に行政からの厳しい審査を受けるため、営利追求で経営的に不安定だったり、保育内容が劣るような所はない。むしろ従来の保育園よりも人材育成やサービスの向上に心がけているような印象を受ける。

前述の JP ホールディングスでも通常の保育に加え、保護者から要望が多い英語・体操・リトミックをメニューに加え、近隣の保育園へ講師を派遣する事業まで手がけている。

小学館アカデミー保育園では、親会社が大手出版社というメリットを活かし、各保育園に図書コーナーを設けているほか、保育園でありながら首都圏の高学歴な親の要望に応え、英語はもちろん、自然科学や食育などの教育を行っている。私も実際に横浜の保育園を見学し、職員の研修会も見学させてもらったが、充実した内容だった。

学生がこのような保育内容が充実し、待遇も良い就職先を選ぶのは自然な流れであり、まして家族や親戚が首都圏に住んでいて、県外就職を希望する学生の、職業選択の自由を奪う理由はない。



横浜・やまた幼稚園の壮大なグローバル化計画

横浜と川崎の市境に近い港北ニュータウンの一角に、学校法人栗原学園が運営するやまた幼稚園がある。実は私自身、30年ほど前にこの新興住宅地に住んでいたことがあるのだが、計画的に開発を進めて行ったこともあって、他の多くのニュータウンのように一気に住民の高齢化が進むことはなく、成熟期を迎えたこの街に、子連れの若い夫婦は多い。

地下鉄で結ばれた田園都市線沿線には、社内の公用語を英語にした楽天の本社が移転し、ディズニーのミュージカルを次々ヒットさせている劇団四季の本拠地も近い。

反対方向に向かうと東急東横線の日吉駅に接続するが、隣の綱島駅との間にある旧パナソニックの携帯電話工場跡地に、何とアップルの開発拠点が進出して来るようになった。

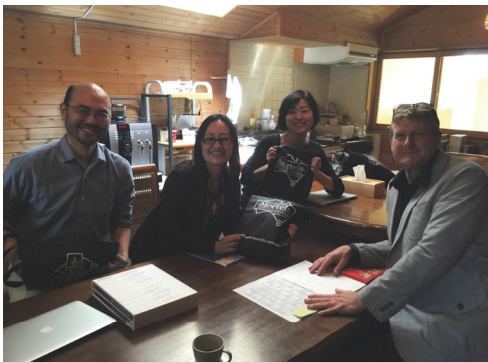
iPhoneの成功で株式総額世界一の企業になったアップルが、潰れた携帯電話工場の跡地にやって来るのは皮肉だが、わざわざ日本の横浜に進出する理由は、当地に本社を置く日産自動車とのコラボで、自動運転の電気自動車を開発するとか、アップルウォッチ対応の医療機器を開発するためなどと言われている。

いずれにしても、アップルが英語で仕事ができる技術者を求めているのは確実なので、地元ではアップル基準に適用グローバル人材を育てようと、にわかに色めき立っているのである。

英語でビジネスができるためには、幼少期からの英語環境が欠かせない（鈴木 2010）。そこでやまた幼稚園では、フルブライト奨学金でコロンビア大学院に留学した経歴を持つ理事長が、経営を引き継いだ数年前からグローバル対応の幼稚園へと改革を進めている。

Atouii というインド人の女性を中心に、仙台の明泉幼稚園の英語カリキュラム Grape SEED を導入、オーストラリア人の専任講師も採用して毎日、園児と地元の小学生を対象に英語レッスンを行っている。併設されている保育園児にも、レッスンをしているそうだ。

ゆくゆくは自前のカリキュラムで、英語と中国語のイマージョン保育を行いたいという、理事長の夢は大きく広がる。



その夢をお手伝いすべく、主任教諭の出身校である常葉短大からも、保育科卒業後にカナダへ留学している卒業生を送り込む予定だったが、「採用の基準に達せず」残念な結果となった。

英語保育ができる人材は本当に稀少なので、今後は本格的に養成に乗り出さないと、とても需要に応えることはできない。

英語保育者の養成をどうするか

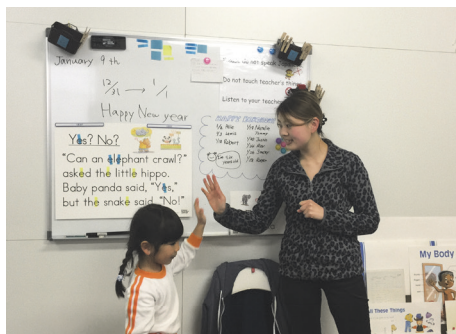
前述のやまた幼稚園では人材の採用に際して、通常の保育者枠の他に英語科枠を設けているが、保育英検 2 級以上や J-SHINE 取得者などに優遇を行っている園は多い。

社団法人・保育英語検定協会から届く求人情報のメールでは、自動車産業が集積する名古屋地区で英語保育者の採用意欲が高く、保育英検 2 級取得者で初任給 22 万円、経験者で 25 万円という求人があった。準 1 級で 30 万、1 級で 40 万円という話もある。

中には、ニューヨークの日本人学校幼稚園教諭募集（2 級以上）というのもあって、月 1,500 ドル（約 18 万円）の給与の他に、住宅と 3 食支給という条件だった。ニューヨークで部屋を借りると 2,000 ドル（24 万円）くらいはかかるので、破格の報酬といえるだろう。

静岡県内でも、英語クラスを設置する幼稚園が増えていたため、英語ができる幼稚園教諭の需要は急増している。

2014 年度から英語クラスを設置した長泉町のエンゼル幼稚園では、その前年から常葉短大英語英文科子ども英語コースの既卒者を採用して準備を始めたが、2015 年にも新たに、幼稚園免許と J-SHINE の資格を持つ新卒者を採用した。



エンゼル幼稚園で活躍する本学英文科卒業生

長泉では、町内にある県立がんセンターに勤務する医療関係者や、本社が近くにある銀行関係者の間で「子どもには英語力を」というニーズが強く、エンゼル幼稚園では園舎を建て替えて、2016 年度から英語クラスを強化することにしている。

英語英文科では 2000 年の静岡キャンパス移転と同時に「子ども英語コース（当初は幼児英語コース）」を設置し、英語保育ではパイオニアの加藤学園幼稚園や山梨のマリア国際幼稚園で担任を務める人材を送り出すなど、120 名以上を幼稚園／プリスクールに就職させてきた実績がある。遠く仙台や神奈川などからもホームページを見て入学してきた学生がいたのだが、認定こども園を目指す幼稚園が、幼稚園免許と保育士の両資格を持った学生を優先するようになって就職実績に陰りが見え、残念ながら子ども英語コースの看板を降ろしてしまった。

ところがその頃から英語クラスを設置する幼稚園が急増し、子ども英語コースの卒業生は引き抜き合戦になっている状況なのだから、皮肉なものである。現在のところ、幼稚園教諭の免許と英語力があれば採用するという園も多いが、いずれ保育士の資格もほしいと言っている所もあるので、養成校としては両資格を持って英語保育、英語レッスンができる人材を送り出す必要があるだろう。

保育科ではもともと、2 年間で幼稚園・保育士の両資格が取れるので、英語ができる受験者を優先して合格させ、保育英語を集中して学ばせ、保育英検を取得させれば、真っ先に好条件の就職先が決まるはずである。卒業生の待遇が改善されれば更に優秀な学生が集まり、保育科のレベルと評判も一層高まるに違いない。

四年制の国際保育コース設置を！

おりしも、2015-2016年版の世界大学ランキングが発表されたが、東京大学が前年の23位から43位に、京都大学が59位から88位に落ちている。100位以内に入っている日本の大学はこの2つだけで、北京大学が42位に上昇し、東大はついにアジアトップの座から滑り落ちた。

トップ10に入るような大学は、カリフォルニア工科大やオックスフォード、スタンフォード大など英米系が多く、学問の世界の公用語が英語であることを痛感するが、外国人教授を増やすなど一生懸命グローバル対応を進めている東大・京大でも下落するのだから、やはり世界の壁は厚いと思わざるを得ない。

私事で恐縮だが、私の娘は加藤学園幼稚園の英語イマージョンクラスを出て、小学生の時には英語を普通に使いこなし、中学は静岡サレジオの英語アドバンスクラスを選択、高校では「英語はもういい」のでヨーロッパに1年間留学、推薦で上智大の総合グローバル学部に進学して2年生だが、現在は国連と外務省のインターンシップ公募に合格し、海外の国連開発計画（UNDP）オフィスで働いている。大学卒業後は海外の大学院に進学したいという。

こういった経験から、やはり海外で活躍できるグローバル人材を育てるには、脳の神経細胞が減少し始める小学校からでは遅い。幼稚園・保育園の段階から、子どもを英語の環境に置くために、英語保育ができる人材を養成すべきである。（鈴木 2010、2011）

すでに短期大学でも名古屋短大のように、英文科出身の教授が保育科長となって積極的に海外研修や海外留学を行い、専攻科で保育英検とオーストラリアの保育士資格を取らせて英語保育の現場に多数送り出している所もあるが、首都圏と大阪の保育系短大でも、新たに英語保育コースを設置する計画があると聞く。

しかし2年間の短期大学で幼稚園教諭と保育士の両資格に加え、英語の資格を取らせるのはかなり能力的・時間的に厳しいので、四年制の幼児教育／保育系学科を設置する際に「国際保育コース」を設けてはどうだろうか。英語や中国語ができる留学生も呼び込んで日本語と保育専門科目を教え、英語ができる日本人学生には優先入学や、採用する側の幼稚園や保育園からの奨学金制度、留学費用補助などの特典を設けて、経済的負担を少なくすれば、四年制でも多くの志願者が集まるはずである。

こうした積極的なグローバル対応を保育系大学が行わなければ、自前で保育士養成まで行おうという民間の企業がいずれ、日本語ができる外国人保育者と、英語ができる日本人保育者の養成に乗り出すだろう。その第一歩はすでに、始まっている。

=39	University of California, San Diego United States of America
=39	University of California, Santa Barbara United States of America
41	Georgia Institute of Technology United States of America
42	Peking University China
43	University of Tokyo Japan
=44	University of California, Davis United States of America
=44	University of Hong Kong Hong Kong
46	University of Texas at Austin United States of America

世界大学ランキングで東大が下落、
北京大学がアジアトップに！

国際保育コースの概要（取りたい資格、就職先に応じて各ユニットを横断的に履修可能）

- ・英語保育ユニット…英語で保育ができる保育者養成、保育教諭と保育英検の資格取得、海外研修を行い、英語イメージ保育の幼稚園・プリスクールに就職
 - ・子ども英語ユニット…GrapeSEED、*IB 等のカリキュラムで英語を教える教諭を養成、保育教諭と J-SHINE の資格を取得し、幼稚園、英語スクールに就職
 - ・国際保育士ユニット…元々英語ができる外国人、帰国生等を対象に、日本語を教え、保育士資格を取らせて、通常の保育園や英語保育の保育園に就職
- *IB…世界標準の国際バカロレア。3 歳から小学生までを IB-PYP という。

（鈴木 2014）

参考文献、ウェブサイト

- ・日本経済新聞（2014-6-26）「保育所参入 企業に障壁 公取委、自治体に改善要求」
- ・サンケイビズ（2013-5-22）「企業参入で変わる保育園 規模・質ともに向上へ」
<http://www.sankeibiz.jp/business/news/130522/bsd1305220801005-n1.htm>
- ・東洋経済オンライン（2015-7-22）「保育士希望者を高給で採用する会社があった」
<http://toyokeizai.net/articles/-/77749>
- ・朝日新聞（2014-6-16）「保育士確保は特区で 試験回数を増加、外国資格も容認」
- ・「日本再興戦略」改訂 2014 - 未来への挑戦 - （2014-6-24 閣議決定）
<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/pdf/honbun2JP.pdf>
- ・「日本再興戦略」改訂 2015 - 未来への投資・生産性革命 - （2015-6-30 閣議決定）
<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/pdf/dailjp.pdf>
- ・鈴木克義（2010）「英語は小学校からでは遅すぎます！」幼年教育出版
- ・NB インターナショナルキンダーガーデン「教育方針」
<http://www.nbik-edu.com/policy.html>
- ・株式会社 JP ホールディングスホームページ「事業内容」
<http://www.jp-holdings.co.jp>
- ・株式会社 小学館集英社プロダクション 総合保育サービスホームページ
<http://www.shopro.co.jp/has/osaki/system/01program.html>
- ・鈴木克義（2010）「英語は小学校からでは遅すぎます！」幼年教育出版
- ・鈴木克義（2011）「英語幼稚園・英語託児の必要性和将来性」常葉学園短期大学紀要
- ・鈴木克義（2012）「子ども英語から保育英語へ」常葉学園短期大学紀要
- ・鈴木克義（2013）「保育のグローバル化と英語保育者養成のニーズ」常葉大学短期大学部紀要
- ・The Times Higher Education World University Rankings 2015-2016
<https://www.timeshighereducation.com/>
- ・鈴木克義（2014）「国際バカロレア導入と IB 教員養成のニーズ」常葉大学短期大学部紀要